

# 広報広聴会議

日 時 令和5年2月17日（金） 午 時 分～  
場 所 全員協議会室

---

1 正副委員長の互選について

2 部会構成について

3 第17期からの申し送り事項について

4 その他

・フェイスブックの投稿について

## 第17期からの申し送り事項

### <広報部会>

#### (1) 議会だよりの編集について

- ◇今期（17期後半の2年）の初め（令和3年3月15日）に確認した編集方針（※別添）を引き継いでいただきたい。
- ◇それをもとに、さらなる紙面の改善を目指し、創意工夫するよう努めていただきたい。
- ◇引き続き、インターネット等の活用やYouTube配信とのリンクによる効率的・効果的な手法を積極的に取り入れられたい。（例：本会議での討論の全文や要旨のQRコード化、常任委員会の審議状況の録画配信のQRコード化）
- ◇モニター制度やアンケートで意見募集などを行い、紙面改善に活用されたい。
- ◇議会だよりに触れる機会を増やすために、設置場所の拡大を検討されたい。
- ◇次期（第18期）のメンバーが確定すれば、これまでに蓄積された編集ノウハウや一定の見せ方を研修等で習得され、方向性を論議いただきたい。全議員もしくは広報広聴会議委員を対象として、議会だよりの編集についての研修（できれば議会広報の講師である芳野政明氏）を行ってはどうか。

#### (2) その他の広報活動について

- ◇議会だよりの発行を初めとする広報活動の全ては、議会を代表する活動であることから、議会（議長や議運など）との報告、連絡、相談で共通理解を図って進めていく。

- ◇広聴活動との連携をさらに強める。
- ◇Y o u T u b e 配信の安定的な運用に向け、議会事務局だけに任せず、部会として技術的なノウハウも身につけて、基本的には議員で対応できるようにしていく。
- ◇F a c e b o o k での議会活動の発信等、S N S の積極的な活用を引き続き取り組んでいく。その他スマート議会目指す取組に積極的に協力していく。
- ◇デジタル的なことだけではなく、議長記者会見のバックボードなどアナログ的なことについても、できることは考えていく。

#### <広聴部会>

- (小・中・高)各学校との意見交換会「議員さんと話そう会」を実施し、子どもたちと交流する機会をしっかりと増やしていく。
- 自治会や団体等とのわがまちトークに加えて、区レベルや小さなコミュニティ、サークル等を含めてコミュニケーションを取れる機会をつくっていく。
- さらに開かれた議会として市民に見近に感じていただくために、夏休みなど長期休業期間に市民の議場見学会を実施する。(議会運営委員会より)
- 重要な案件や採決が拮抗した際には、議会報告会を開催する。(議会運営委員会より)
- わがまちトークを再開する際には、ファシリテーターとしての心構えや留意事項等を広報広聴会議で整理して示していく。(議会運営委員会より)

## 議会だよりの編集について

### 1. 編集の目的

- ① 定例の各議会の内容を市民に分かりやすく情報提供する。
- ② 議会の在り方や、議会の役割、議会・議員の活動などについて、市民に興味・関心を持ってもらい、理解と協力を得る。
- ③ 広報広聴会議の活動の結節点、広報広聴活動を知らせるツールとして、広聴活動の紹介、収集した市民からの声・意見の紹介などを行う。

### 2. 編集にあたっての共通認識

- ① 広報部会で編集するが、広報広聴会議として発行すること、発行責任は議会・議員全体に係ることを認識して編集にあたる。そのためには、絶えず広聴部会との連携をとり、議会（議会運営委員会）との間で、「報告」「連絡」「相談」を密にとる。
- ② 議会だよりは、「市民にページを開いてよんでもらってナンボ」である。市民が読んでみたくなくなる紙面づくりの努力なしに広報活動は成り立たない。

#### ③ 上記のために、以下のような点を留意する

- 視覚に訴える工夫を優先。カラーページの有効活用（全頁カラーも来年度に向けて検討）
- 表紙の工夫（表紙で読者を惹きつける）
- 掲載ページ順序の工夫（読みやすいもの、注目されるもの、重要なものから順に）
- ページレイアウトの工夫

#### ・ 写真・イラストの効果的配置

- 写真の大きさや向き、位置も重要。
- 写真には効果的なキャプションをつける。
- イラストやカットは癒しや和みを与える。
- かめまるくん、しんがくんキャラクターの活用。議員が表現しにくい内容も代弁してくれる。

#### ・ 見出しの工夫

- 大きく、短く、イメージしやすいものを。
- 長い文章には小見出しをつけて分ける。小見出しを読めば要約されているというように。
- 読者は見出しだけ見ていくので、スルーされたらおしまい。

#### ・ リード及び本文の工夫

- 客観的な報道で、簡潔なリード文で誘導
  - ※ 例・・・5W1H→When（いつ）、Where（どこで）、Who（だれが）、What（なにを）、Why（なぜ、なんのために）、How（どのように）
  - ※ できる限り、要点以外の無駄な言葉を削ぎ落して、字数を少なくする。結論がわかりやすくする。
- 読みやすさ、見やすさを優先。文字を大きく、少なく
  - ※最低でも12P。字数を今の7～8割に削減目標で。
  - ※太字や囲みも有効に活用

→市民目線で、理解しやすい言葉を使う。

※どうしても言葉を変えられないときは、解説文を挿入など。

- 余白の有効活用（字が大きいと読みやすいが、詰め詰めだと疲れる。文字が小さくなって余白を作るほうが読みやすい場合もある）
- ④ 絶えず市民を意識して、情報収集に努める。
  - 市民の声が載っていると興味が持てる。
  - 賛否両論のバランスを配慮する
  - 広聴部会の活動を必ず紹介する。広聴部会は3か月一度、必ずネタを作ってください！
  - 当面3Pは、広聴部会の活動を基に話題・記事を組み立てる。

### 3. 当面の議会だより編集方針

#### 1P・・・(カラー)

- 現在継続している週刊誌風表紙のスタイルを継続する。読んでみたくなる見出しで
- 当面、タイトル「かめおか」は今のものを継続するが、「かめおか」にこだわることなく、よりよい表紙にふさわしいタイトルや名前（「議会だより」含む）を追求していく。
- 左開きの冊子にふさわしい縦書きのタイトルも視野に入れる。

#### 2P・・・

- 「かめまるくんとしんがくんの議会トーク」
- ■月議会の概要がよくわかるもの、子どもでも読んでわかるものを意識して
- あまり詰め込まない。余白を十分にとる。

#### 3P・・・

- 議会活動や議員について興味関心、理解を得る内容に
- 広聴部会の活動を中心に上げる。

#### 4. 5P・・・(カラー)

- 従来から特集ページとしてきた。予算、決算の議会の時はその特集とし、内容も市の広報ではない議会の徹底審査の様子が伝わるものに工夫してきた。予算、決算でない議会の時は、議員や議会活動についてテーマを決めて掲載してきた。（教えて議員さん、子ども議会など議会の取り組み、わがまちトークなど市民との交流、市民からの投稿、作品紹介、市民の声・意見の掲載など）

#### 6P～8P・・・

- 常任委員会の審査報告 ○ 討論 ○ 議決結果 ○ 議決内容 等

#### 9P～15P・・・

- 各議員の一般質問（※3月議会は8.9Pで代表質問(カラー)）

#### 16P・・・

- 3月議会を終えて（議長・副議長・監査が順番で）
- 議会を傍聴して（各会派に順番で依頼。コロナ禍ではネット中継視聴の感想）
- 次回議会日程等、お知らせ
- 編集後記は掲載しない（No.188には今後2年間担当する、広報広聴部会ごとの写真と名簿を掲載する。それぞれの部会の役割を短くキャプションで入れる）

### 4. 議会だよりNo.188の編集について(別紙)